

視聴覚教育

NO. 427

発行日

28. 11. 30

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる!?

ストリートビュー

「GoogleEarth」や「Google マップ」に採用されている機能、世界中の様々な場所の 360 度パノラマ画像を、実際にそこに立った視点で見渡すことができる。修学旅行や校外学習などの計画の場面で使用すれば、より具体的なイメージをもった活動計画を立てることができる。

ICT活用指導能力の向上を願って

学習情報指導員 内田 雅之

アクティブ・ラーニングという用語が、中教審への諮問に登場してから、ちょうど二年が経ちます。アクティブ・ラーニングにおいては、ICTの活用が「対話的な学び」や「主体的な学び」に有効であると言われていきます。また、その学びにおいては、子供自身が、自らの学びに応じて主体的にICTを活用し、学びを深めることが重要です。その実現のためには、教員に「子供がICTを活用できるように指導する力」を付けることが求められています。

しかし、その指導力の実態はどうでしょうか。先月、文科省から「教育の情報化に関する実態調査」について、最新の結果が発表されました。その中の「教員のICT活用指導力の推移」という項目では、「子供にICTの活用を指導できる」という設問に「わりにできる」「ややできる」と答えた割合が、全国平均で約66%、愛知県では約60%となっています。教員がこのような状況では、子供のICT活用能力を伸ばすことは難しいのではないのでしょうか。そこで、子供と共に教員も学び、指導力を伸ばしている

一例として、愛宕小学校の実践を紹介します。

愛宕小学校では、子供たちに最新のICTに触れることのできる機会を提供するため、ロボット犬を導入したり、ドローンを操作したりと、様々な取組を行っています。毎月一回行っているプログラミング学習もその一つです。外部から講師を招き、全学年の子供たちが、発達段階に応じた内容・教材で学んでいます。この実践では、子供たちの論理的思考力が育つだけでなく、教員も、現在中教審で審議されているプログラミング学習の趣旨や目的を理解すべく、積極的に学んでいると聞いています。このように、子供たちにICTを活用した新しい学びの場を提供することは、教員自身が学ぶことにもつながり、結果として「子供がICTを活用できるように指導する力」を伸ばすことができるのです。

教育は、子供たちが生きる未来を見通して行われる営みです。子供のICT活用能力を伸ばすためには、教員が常に新しいICTに目を向け、意欲的に研修に取り組む姿勢が不可欠です。市内全ての学校において、積極的な取組が行われることを願ってやみません。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれ Ⅱ 平成28年度岡崎市立葵中学校研究発表会報告

十一月九日(水)、葵中学校において研究発表会が開催された。この研究発表会は、岡崎市教育委員会「ICTを活用した二十一世紀型授業の創造」の研究委嘱及び文部科学省指定「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」実証校の最終年度である。

葵中学校は、平成22年度より、ICT環境を整備し、最新のハードウェアやソフトウェアの効果的な活用法を検証してきた。最終年度となる平成28年度は、「全員が課題を達成することを目指す協働的な学び」を実現するためのICTの有効な活用法を探ることを研究主題とし、研究に取り組んできた。

本研究発表会では、協働的な学びをサポートするためのICT活用が、各教室の実践で展開された。例えば、技術科の授業では、タブレットPCの撮影機能を用いて、きりで正確に下穴を開ける工夫をする実践を行った。仲間の穴開けの様子を撮影し、互いに画面を確認しながら「作業中にきりがぶれるよ。きりを垂直に使おう」などと声をかけ合い、タブレットPCを通して生徒同士の関わり合いが各グループで見られた。ICTによる客観的な視覚化を実現しつつ、子供同士の関わり合いを生み出した授業であった。

これまでの葵中学校の研究から、私たちが得たものは多い。研究がひと区切りを迎える今、私たち一人一人が、葵中におけるICT活用を自分自身の授業にも取り入れていくことで、その大きな研究成果を、岡崎全体で共有できるように広げていきたい。



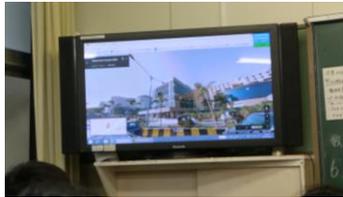
II 実践報告 II

地図ソフトを活用した世界地理の学習

矢作北中学校 加藤 博樹

自分に関係がなさそうな国のことには、あまり興味を示さない一方で、芸能人が外国を訪れるテレビ番組をよく見るといふ生徒は、意外に多い。その間にある違いは、現地の人々の生活や文化を身近に感じられるかどうかではないだろうか。そこで、中学校一年の社会科地理「アジア州」の学習において「グーグルストリートビュー」を活用し、生徒が世界の国々を身近に感じられるようにすることを目標にした実践に取り組んだ。

上海やドバイの街の様子を見せたことで、生徒は都市がかなり発展している様子を知ることができた。中でも屋台が立ち並ぶバンコクの街並みを見て「どんな料理が売られているのだろう」と、タイの人々の生活について興味をも



つ生徒が多かった。インドのムンバイの様子を見たときには、オフィス街と、そのすぐ隣にあるスラム街との格差に、生徒たちは驚いていた。ある生徒は「はじめは思っていたよりすごい都会だと感じたけど、すぐ隣に全然違う世界があった」と感想を述べ、経済格差の存在を実感していた。

外国の生活の疑似体験は、紙媒体の資料だけでは十分に実現できない。地図ソフトの活用によって、実感を伴う授業を行うことができた。

II レッツ・トライ！ICT II

今回使用したソフト・機材 「ウインドウズDVDメーカー」

学年末に、一年間の思い出を形にして子供たちにプレゼントしたいと思うことがある。そんな時には、「ウインドウズDVDメーカー」を活用して、手軽にスライドショーのムービーを作成できる。

まず、DVDメーカーを起動し「項目に追加」で写真を取り込む。取り込んだ写真を確認し、作品の体裁を整えれば完成



だ。BGMを挿入することもできるが、使用する楽曲の著作権については十分留意しなければならない。このような複製・配付は、著作権法35条の規定には当てはまらないことから、BGMには著作権フリーの楽曲を利用しなければならない。また、これをよい機会と捉え、子供たちに著作権や肖像権に関する指導を積極的に行い、子供たち一人一人に、自他の諸権利を大切にする姿勢を身に付けさせたい。さらに、このDVDが配付された後、各家庭で正しい情報の取扱いがなされるよう、保護者への啓発を行うことも重要である。

ある保護者からは、「家族で見て感動しました」という言葉をいただいた。学級で視聴することで、子供たちに一年間の成長を振り返らせることもできる。計画的に写真を準備し、三学期の忙しい時期でも無理なく手際よく作成できるようにしたい。

(三島小学校 学習情報主任 丸尾 健太)

ライブプラーリーだよ

●第14回「ふるさと岡崎メディアコンクール」 締め切り迫る

「ふるさと岡崎メディアコンクール」の募集締め切りが12月2日(金)に迫っています。募集要項や応募用紙は視聴覚ライブプラーリのサイト(<http://www.ovtl.jp/>)にあります。記入の仕方など不明な点がございましたら、視聴覚ライブプラーリまでお問い合わせください。授業で使用したビデオ教材やパワーポイント教材、子供がパソコンでまとめた学習成果物など、積極的な応募をお待ちしています。

●新規購入機材の紹介

今年度、視聴覚ライブプラーリでは、高性能なプロジェクター(パナソニック社製)を二台購入しました。明るさは体育館等の大会場でも利用できる四八〇〇ルーメン。ある程度の照明がある状態でも使用が可能です。高解像度WXGAにも対応しており、非常に鮮明な映像を投影することができます。

附属品にはHDMIケーブル10m、RGBケーブル10mがあり、様々な機器に接続することが可能です。

また、劣化のないデジタル映像を100m以上伝送できる機器も購入しました。ハイビジョンビデオカメラの映像を、高画質のまま離れた場所に映したい場合などに御利用ください。

